

世界の国から こんにちは

京都大学には、世界中の様々な国から毎年多くの留学生がやってきます。しかし普段大学に通っていても、彼らと知り合う機会はあまり多くはないのではないでしょうか。今回は三人の留学生のみなさんに、留学しようと思った理由や、普段の大学生活の様子などについてお話をいただきました。
(ココアリキュール)

周 小星 さん



中国
工学部情報学科
京大留学歴：1年
好きな和食：お寿司
中国では生ものをそのまま食べないので、珍しいです。お刺身も好きです。

グスタフ・リーデウィク さん



スウェーデン
KUINEP交換留学生
京大留学歴：半年
好きな和食：お好み焼き
和食は結構好きで、よく定食屋さんでご飯を食べます。

ポール・ヴィンセント・リム さん



フィリピン
総合人間学部人間学科
京大留学歴：2年
好きな和食：お好み焼き
たこ焼き
フィリピンではあまりたこを食べたことがなかったのですが、たこ焼きはおいしいと思いました。

日本に留学しようと思ったのはなぜですか？

ポール（以下ポ）：留学という経験を通して、将来国際的に活躍できるようになりたいと考えたからです。フィリピンにずっといるよりは、若いうちにどこかに行くという経験をつんだ方がいいんじゃないかなあと思いました。なぜ日本に留学を決めたかという、国際的といってもできるだけアジアを視野に入れて考えたいと思ったからです。

グスタフ（以下グ）：スウェーデンからはアメリカやヨーロッパなどに行く人が多いけど、僕はすでに英語を話せるから、英語圏の国にはあまりいきたくないと思っていました。日本には興味を持っていたし、留学するよい機会がやってきたので、日本に留学することを決めました。

小星（以下小）：若い時にいろんなところへ行きたいと思っていて、日本は近いし、日本語はたくさん勉強しているから留学するのによさそうだと思います。



はみだし
すてーじ

世界は平等である。そうであってほしい。
⇒そしてできることなら世界は平和であってほしいですね。

(理・1 羽根ペン)
(ラブ&ピースの精神をしよう編)

京大を留学先に決めた理由はなんですか？

小：大学に入るときは、日本人学生と同じように、私立大学や国公立大学の前期・後期の試験を受けます。まずは留學生試験という、センター試験のようなものを受けて、その後はそれぞれ希望する大学ごとに試験を受けるんです。日程が大学ごとに違うので、日程の問題がなかったらいくつも受けることができます。私もいくつか受験して、大学を決めるときにいろいろ迷ったんですけど、やはり京大の情報学科は優れていると思って、京大に行くことに決めました。

ボ：フィリピンからの国費留學生の場合、まず東京外国語大学で一年間日本語を勉強して、成績の順番で大学を優先して選ぶ権利を与えられるんです。その外国語大学の中にも三つの部分があって、半分が理系で、あとの半分が文系で、その文系が二つに分かれています。その文系のうち7割は経済向きで、僕は国際関係を勉強したかったから、もうひとつの経済向きじゃない方に入ったんです。そこから進学できる学部は、法学部とか総合人間学部とか文学部などです。

京大を選んだひとつの理由は、一年間日本語を勉強するために東京外国語大学にいましたが、東京の忙しい町の雰囲気があまり好きになれず、先輩によると京都は学生の町で生活がしやすいということなので行ってみたいと思いました。あと、もちろん京都大学のレベルが高いといわれていることも挑戦したいと思ったきっかけでもありますね。

グ：僕はスウェーデンの大学で2年間勉強しましたが、そこで勉強を続けることがいやになってしまったんです。そんな時にKUINEPプログラムで京大に留学する機会を得ました。だから僕は、リラックスして自分のやりたいことを見つけようとして京大に来たのです。

日本語はどのように学んだのですか？

グ：日本に来る前は日本語は勉強していませんでしたが、今は大学で日本語の授業を受けて勉強しています。漢字を覚えるのが少し大変ですね。



スポーツ大会にて。白熱した試合が繰り広げられています。



新入留學生歓迎会には、たくさんの方が集まりました。

小：中国では小学校から英語を学びます。私の学校は英語は普通に小学校から学ぶのですが、日本語は特別で、中学校からもう一つの外国語として習います。もう7年間ぐらい日本語を勉強していますが、今でも慣れないことが多いです。

ボ：ここに来る前、一年間東京外国語大学で日本語の勉強をしました。そこでは朝から晩までずっと日本語ばかりですね。朝は文法・漢字。昼からは経済や国際関係の勉強です。日本語の専門用語を覚えるために。あとは会話や聴解・読解ですね。

大学ではどのような授業を受けているのですか？

小：日本人の学生と同じですよ。日本語で授業を受けています。話している内容が全部わかるとは言えませんが、工学部なので数学や理科を勉強していますから、数式とかを見たらなんとなくわかりますので、文系学部にも留学する人よりは授業は理解しやすいと思います。外国語は日本語を第二外国語として選択できるんですけど、私はドイツ語を選択しています。まだ全然話せないんですけど。

ボ：大体、総合人間学部の日本人学生が受けられる授業を受けています。社会システム論が専攻なので政治・経済・法律などの授業が多いです。特別なことと言えば、語学が英語のかわりに日本語だったということくらいです。中国語の授業も履修していて、もちろん日本語で勉強しました。一回生の前期はやはり英語で聞く方が楽なのでKUINEPの授業を取っていましたが、総人ではKUINEPの単位がそんなに多くは認められないと知り、それからは日本語の授業ばかり受けています。

グ：僕はKUINEPプログラムで勉強しています。このプログラムは京大と交換留学の提携を結んでいる大学から学生を募集し、1年間京大で学問知識や日本語の習得、日本の文化や社会、歴史についての教育を行うというものです。生命科学や社会学、経済学などの6つのコースに分かれています。僕はスウェーデンにいた頃は日本語を勉強したことはなかったので、ひらがなや漢字などの文字の読み書きや基礎的な文法などから学びました。

はみだし
すてーじ

折りたたみ式携帯の、バカバカという音、そろそろ固有名詞をつけて認識したいと思う。
⇒……例えば、「折りたたみ音」とかですか？

(葉・2 cheeeeeeee)
(なんか違う編)

大学の空き時間はどのように過ごしていますか？

小：クラスの女の子、といっても工学部なので3人しかいないのですが、その3人でどこかに行っておしゃべりしたり、大学の周りを散歩したり、後は図書館に行ったりしています。

ポ：図書館で新聞を読むのが好きです。あのスペースはおちつきますね。大好きです。あるいは英語の本を読んだりしています。昼休みは、友達と予定があれば一緒に食べに行ったりします。あと、もともと運動するのが好きなので、ジムに行くこともあります。

グ：図書館に行って本を読んだり、勉強したりしていることが多いですね。

授業後や休日はどのように過ごしているのですか？

小：お寺を見たり、散歩に行ったりします。大学の近くにもいろいろなお寺がありますね。後はアルバイトもしていますよ。

ポ：普通の人と変わらないと思います。友達とカラオケしたり、ぶらぶらしたり。家にいるときはテレビをぼーっと見ています。最近は漫才もわかるようになってきました。ワイドショーなんかも見て、友達との共通の話題も増えました。あとは、家事をするのも好きです。

グ：大学周辺の地域を散歩したり、山に登ったり、京都のお寺や神社を見たりしています。後は本を読むこともあります。

サークルやアルバイトはなにがしていますか？

小：サークルは、「留学生委員会」に入っています。留学生の経済的・生活支援や異文化交流を目的に活動しています。具体的には、新入留学生歓迎パーティー、バーベキューやスポーツ大会、海水浴、国連の写真展、留学生による小学校訪問などを行っています。



パーティーで披露された、魅惑的な踊りにみんなうっとり。

はみだし
すてーじ

真に尊いものは失って初めてそれが尊いとわかるものだ。
⇒重みのある言葉ですね。



みんなそれぞれ飲み物を持ち、思い思いにくつろぎながら、演奏を聴いています。

今までは学相で紹介してもらって、短期とか一日だけのアルバイトをたくさんやりました。でも学相のアルバイト紹介が今度なくなってしまうから、先輩などに紹介してもらって長期のアルバイトをしたいと思っています。

ポ：サークルには参加していますよ。そこで友達もできたり、交流を広げる場ですしね。僕は複数のサークルに所属しています。日本人が多いサークルもあれば、ほとんどが留学生で英語で会話をするサークルもあります。

アルバイトもしています。僕は国費留学生なので、バイトをするには文部科学省からの許可が一応必要だし、労働時間の上限などが決められています。バイトの内容は、主に英語を教えています。本当は、接客業などもっと人と関係の持てるバイトもしてみたいです。敬語も勉強したいですし。

グ：サークルやアルバイトは特にしていません。毎日勉強に忙しく、いろいろすることがあるので、なかなか時間をとれませんね。でも、スウェーデンにいた頃には合気道のクラブに入っていましたよ。だから時間があれば、日本でも合気道をやってみたいですね。

留学生同士の交流はどれくらいありますか？

ポ：同じ国からの留学生とはやはり結構会いますね。他の国の人たちともまあまあ会います。たまにパーティなんかもあるし。オールナイトで遊びに行ったりします。また、先輩方からはアドバイスをもらったりします。

小：私は「留学生委員会」に入っているのですが、そこでは中国から来ている人や日本の人が多くて、その他の国の人はちょっと少ないですね。英語を話す人とはあまり交流する機会がなくて、それがちょっと惜しいなと思っています。もっと積極的に英語で話せるようになりたいですね。これからもっと留学生委員会の仕事を頑張って、英語を話す人たちともっと交流を深めていきたいなと思います。

グ：京大には様々な国から留学生が来ていますが、その中でKUINEPの授業を一緒に受けている人や、何かのパーティーで出会った人たちと、話をしたり一緒に出かけたりすることがありますね。

(理・2 301st)
(いつか名言を残したい編)

日本人学生との交流はどれくらいあるのですか？

ポ：さっきも言った通り、サークルに所属していた関係もあってけっこう友達はいます。最初のころは日本語の問題で「どこから来たのですか？」「フィリピンはどんな国？」などというような、お決まりの質問にしか答えられず、相手にも気を使わせてしまいました。でも、今では問題なくしゃべれるようになってきたので、話の幅も広がり、とっても楽しいです。たまに、日本人より僕の方が日本の芸能界に詳しくて教えてあげたりします(笑)。

グ：出会う機会が少ないためか、それほど交流はありませんね。もう少し日本語を話せるようになって、いろいろ話してみるとおもしろそうだと思いますが。

小：クラスのほとんどは日本人学生だから、人並みに話などはしています。委員会の方でもけっこう交流ができると思いますし、今住んでいる寮の中でも日本人学生はたくさんいます。話をすると、日本人の物事のやり方や考え方を聞かせてくれます。でも、みんなが話かけてくれるのが嬉しいけど、自分から話をするのが苦手で、周りに日本人学生がたくさん居る環境の中にいるのに、今のままではちょっと交流が不十分だと思っています。もうちょっと積極的に話せるように頑張りたいです。

京大の学生を自国の学生と比べて、どう思いますか？

ポ：フィリピンの場合は単位ごとにお金を払います。また、単位取得の条件の大部分は出席点です。だからみんな必死になって授業に出席しますし、僕にとってまじめに見えます。またバイトをする習慣がないので、けっこう勉強に集中している人が多いです。

小：歴史を見ても、中国と日本は昔から交流がありましたし、やはり学生でまだ若いためか、日本と中国の間でもそんなに違いはないと思います。日本の学生は、困っているとすごく熱心に助けてくれるし、みんな優しいなと思っています。



鴨川河川敷でのバーベキュー。おいしい料理にみんな笑顔です。



熱狂的な音楽にあわせて、みんな楽しそうに踊っています。

グ：あまり詳しくはわからないけど、日本の学生はサークルなどの活動を積極的に楽しんでいて、スウェーデンの学生と比べると勉強はそれほどたくさんしていないように思えますね。

留学してみてどんな感想を持ちましたか？

小：やはり見聞は広まったと思いますね。今までは中国にいるばかりで、中国人の視野からでしか世界を見ることができませんでしたから。日本に来てから、日本から中国を見る、という見方もするようになって。それがいいなあとと思っています。

グ：日本での生活は結構気に入っています。忙しいですけど毎日が楽しいです。日本の文化、例えば浴衣を着るなど、スウェーデンではなかなか体験できないことができたのは自分にとってよい経験になったと思います。

ポ：けっこういい経験が得られていると思います。フィリピンにいたときよりももっといろいろなことを感じるようになりました。もちろんいいことばかりではありません。ある部分には失望したこともありますし、もちろん家族を思って寂しいと感じたこともあります。でも、そういうことばかりではないし、悲しいことや寂しいことを通してまたあらたな経験が得られる、例えば本当の友達のやさしさに触れたり、視野が広がることだってあります。あとはフィリピンにない機会とかを日本でなら得られる可能性があり(例えばインターンシップなど)、いろいろなボランティアサークルに参加して国際的なことがいろいろ勉強できました。日本に来てよかったかどうかはまだわかりませんが、来たことに関しては後悔していません。いろいろな人に会って、いろいろな面白い話や、様々な考え方の話を聞いて、やっぱり世界は広いなあと感じ、国際的に活躍したいという希望がさらに強くなりました。

たくさんの質問に答えていただきありがとうございました。みなさんのお話から、留学に対する熱意や充実した大学生活の様子が伝わってきました。京都の生活にはまだまだ慣れない部分もあると思いますが、これからも頑張ってください。

はみだし
すてーじ

ポストに手をはさんでケガするし、輪ゴムで指切って血出るし、なんかどんくさい。
⇒手はいろんな作業に使うから、ケガしやすいですね。私の弟も幼少の頃…。

(文・1 文1)

(これ以上あなたの手が傷つかないことを祈る編)